



議員でつくる広報誌

むかわ議会だより



2 P ~ (特集) 復興拠点施設等整備事業 I
4 P ~ 6 月定例会、第 1 回臨時会
8 P ~ ここが聞きたい! 7 人の議員が一般質問
16 P ~ 委員会報告 (総務厚生・経済文教)
20 P 道内行政視察

No. 65
2023.7.31 発行



むかわ町議会

☎054- 8660 北海道勇払郡むかわ町美幸 2 丁目88番地

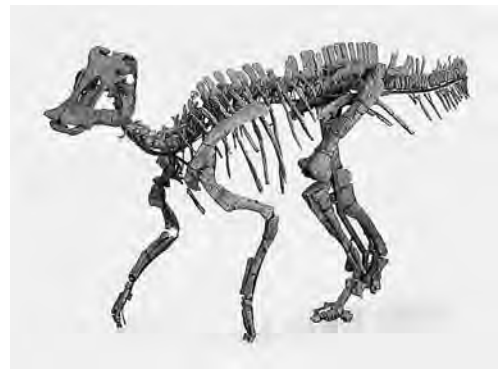


議会広報委員会

☎ 0145-42-2486 FAX 0145-42-4994

等整備事業Ⅰの行方は

いて、復興拠点施設等整備事業Ⅰについて基本設計の説
デザインも示され、町民が望んだまちなかの再生整備を



北海道の森に

問 小坂利政議員 町内外

に「道民の森」として認識
されているが、キャンプ場
整備の機会に北海道の森に
昇格させては。

答 穂別地区拠点整備をし

ていく中で地域資源を活か
したまちづくりの点で重要
であり、観光売り込みに繋
がる仕組みづくりや整備を、
道とも協議して進めていき
ます。

高い目標数値で

問 東 千吉議員 今回は

復興拠点の施設整備として
キャンプ場も含めて観光客
数等精度の高い目標をもち
国の交付金を申請すべきで
は。

答 今回の拠点整備事業Ⅰ

はモデル事業であり、事業
Ⅱの鶴川地区に繋げて行け
るよう交付金を活用し、む
かわ町全体の波及を考えて
進めます。

観光か

住民課題解決か 地域運営組織は

問 栗原健一議員 エリア

デザインは、観光と住民課
題解決のどちらが上になる
のですか。

地域の運営組織で本当に
できる体制になっています
か。

答 どちらも大事です。ま

ちなか再生計画が基本であ
り根っことなるものです。
そこには観光、地域住民
の生活も含まれています。
地元住民が関わり協議し
ています。

ソフト面の充実

問 佐藤 守議員 博物館

に來られた方の宿泊や、修
学旅行コース等ハード面と
一緒にソフト面への考えは。

答 修学旅行コース導入へ
の努力等充実を図ります。

宿泊施設は、鶴川地区穂
別地区の関連性を結びつけ
ながら考えていきたいが、
今の段階での答えは持ち合
わせがありません。

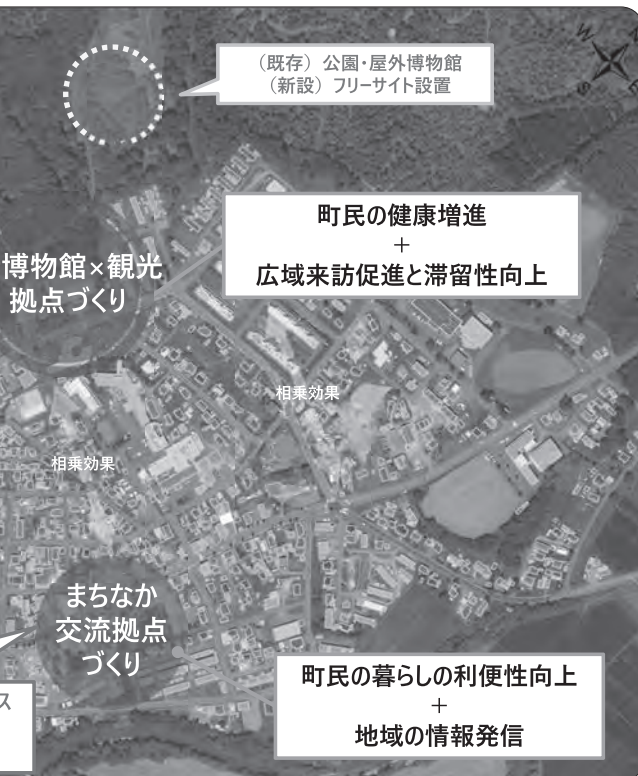
実施設計事業者の 公募は

問 中島 勲議員 実施設

計もプロポーザル方式で進
んでいくのですか。

答 広くプロポーザルで事

業所を募りたいと考えます。
6月議会で実施設計等に
係る経費の予算案を提出し
可決された後実施設計に
入っていきます。





特集

全員協議会

復興拠点施設等

4月27日第3回・5月22日第4回の全員協議会において、説明が行われました。キャンプ場や温浴カフェの新たなイメージの検証。多くの質疑、意見が出されました。

博物館のあり方は

問 北村 修議員 博物館

の基本は観光的なものなのですか。むかわ竜の全身骨格の展示の実現は。

この場所に温浴カフェを置くことで博物館への効果は。

答 資料収集・保存・調査・研究、教育普及活動が基本です。

世界に誇るカムイサウルスの実物化石等、魅力的な化石を活かし、研究と観光を両立させていきます。

観光の観点から来場者を



他の施設に引き込む必要はありません。

穂別の湯は、ほとんど町外利用がないことから、博物館横に設置するものです。

交通弱者対策・住民説明会は

問 大松紀美子議員 令和6年中の温浴カフェ開始までに、公共交通の体制はできますか。

住民への説明は。

答 今現在サポート交通の実証実験をしております活用できればと思います。

6月2日の穂別地域協議会の後、住民説明会を開催します。

追加予算と定例会までのスケジュールは

問 津川 篤議員 今後追加予算の考えは。

住民説明会から厳しいスケジュールと考えるが、努力した結果が町民に見えるものでなければと思うが。

答 当初の15億円から精査していく中、予算を組んでいます。

持ち出し分の5億5千万円は、町民の負担に直接関わる部分であり、枠を超えないように一つの目安としています。

定例会に向け内容を精査し迅速に対応出来るよう努力します。

町民説明会後も議会に報告する場を設けます。

意見交換

北村議員

カムイサウルスが一番において博物館整備を。買い物対策の施設に公共施設の使用は議論すべき。

大松議員

住民の意見を充分聴取し慎重にしてほしい。

奥野議員

住民へ丁寧な説明を。

東議員

デジタル田園構想交付金のお金の集め方に工夫を。

住民説明会は6月7日に穂別地区、9日は鶴川地区で開催されました。

さらに6月12日の第5回全員協議会では追加予算が示され、第2回定例会は活発な議論となりました。

第2回議会定例会

令和5年第2回定例会は、6月22・23日の2日間の会期で開かれました。町長行政報告3件、議員の一般質問の他、報告3件、諮問1件、議案9件、意見書3件の審議を行いました。意見書2件以外はすべて原案通り可決されました。

【報告】

◎令和4年度一般会計繰越明許費繰越計算書
・事業数全8事業
繰越額2億4529万4千円（うち一般財源2412万1千円）

※主な事業

●地域情報施設管理運営事業
557万2千円

●マイナンバーカード普及促進事業
688万8千円

●担い手確保・経営強化支援事業
3175万1千円

●農業施設災害復旧事業
379万6千円

●道路橋りょう災害復旧事業
1億6475万6千円

●河川災害復旧事業
2072万7千円

◎令和4年度下水道事業会計繰越明許費繰越計算書

※主な事業

●鶴川地区公共下水道処理場機器更新事業
6830万円

●穂別地区農業集落排水処理場機器更新事業
2940万円

●鶴川地区公共下水道処理場機器更新事業（事故繰越でさらに繰越）
1283万2千円

【専決処分報告】

令和5年4月11日、町道米原1号を走行中、路面にできた穴に車輪が脱落し車両に損害を与えたため、専決処分したものの。
5295円

【諮問】

人権擁護委員の候補者推薦むかわ町田浦149番地3
大友 抄子氏（再任）



中央小防災訓練

【議案審議】

◎辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定

◎工事請負契約

旧鶴川消防支署解体工事
契約額1億560万円
相互建設株式会社

◎工事請負契約

地球体験館解体工事
契約額7400万8千円
㈱小金澤組むかわ本店

◎工事請負契約

防災行政無線作卓・屋外拡声装置更新整備
契約額1億2100万円
㈱米澤電気商会

問 大松紀美子議員 住民にとつて、これまでの防災無線の聞こえ方がどのようなに変わるのですか。

答 防災無線の屋外スピーカーを、これまでよりも聞こえる範囲が広がるものを導入します。

◎課設置条例の一部を改正する条例
まちなか再生の取り組み、脱炭素、DX、人口減少対策などの地域課題解決や、社会構造が大きく転換する新しい時代に対応するため、機動性を持った組織体制にするための組織機能の見直しを図るものです。
（施行は令和5年8月1日）

※DXとは

デジタルトランスフォーメーションの略称で、進化したデジタル技術を活用し、人々の生活をより良い状態へ変革する概念です。

問 東 千吉議員 町はゼロカーボンシティ宣言をしています。

推進室ではなく、町民生活課の中のグループとしていますが本気度は。

答 推進担当として、主幹も配置しています。本気度の第一段階として、グループ名称を付けました。

問 大松議員 課を増やすことは良いことと考えます。管理職が増えることでの財政的な変化は。

答 財政的に大きな負担にはならないと考えます。

◎令和5年度一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出額を規定額に1億4256万3千円を追加し、総額を95億341万5千円とします。

※補正の主なもの

●企画一般事務

12万8千円
JR日高線の調査・実証事業費負担金

問 中島 勲議員 実証事業の内容と進捗状況は。日高線を残すための前向きな事業ですか。

答 道内8つ黄色線区の一つの日高線の利用促進のための調査で、来年3月末に総括的な検証を国から求められています。

国の補助事業を使い、利用促進、収支の改善に向けての実証・調査事業です。沿線住民の公共交通の利用実態、意向調査などを行います。

問 北村 修議員 日高線はJRの廃線対象線区となっており、調査の結果が良くなければ廃線になるのでは。

苫小牧・鶴川間存続のために、さらなる利用促進対策を作ることが大切ですが。

答 JR側は、鉄道からバス転換を否定していません。JR側との温度差はありますが、鉄路存続のために、さらなる利用促進を取り組めます。



がんばります！

●まちづくり推進事業

400万円

旧宮戸小学校跡地活用で、閉校後も地域の振興や活性化に寄与するために有効活用します。

老朽化した胆振農業改良普及センター東胆振支所の移転が検討されていることから、移転のための施設改修実施設計費用です。

問 大松議員 ①普及所が入る他に、地域の人たちの利用とあるが、具体的な活用方法は。②現在の文京にある職員住宅はどのようになるのか。③条件整備費用は道が償還とあるが、使用料はどのようになるのか。

答 ①今後地域の意向を聞きながら活用方法を協議する考えです。②引き続き使われます。③電気・水道などの費用は使用者が負担しますが、家賃は、旧宮戸小は国の交付金を使い建設していますので、今後の検討となります。

●四季の館管理運営事務

3017万8千円

施設管理委託料・燃料費他損失補填分

●子育て応援基金積立金

500万円

令和5年5月12日、子育て応援のための経費へ、匿名による一般寄付金です。

問 北村議員 多額の寄付です。寄付者の目的に沿った事業があるべきですが。

答 子育て支援の具体的な要望はありませんでした。

●感染症対策ワクチン接種事業

4116万1千円

●私有林等整備促進事業

1670万円

●鳥獣対策事業

2516万4千円

問 北村議員 市街地に大量の鹿が出没しています。どのような事業展開か。

答 町内全体を対象とした捕獲です。

問 小坂利政議員 これまでの成果に見合わない鹿の増加があり、熊の出没も多く、危機感を持ちます。

有害駆除は、既存のハンター・作業員の他にベンチャー企業の立ち上げなどの検討は。

答 町以外の団体の検討をした経緯はありません。道のヒグマ連絡会議が開催され、町も関係機関として入っています。

国の補助金以外、町の単独財源も使い、捕獲目標3500頭に向けての予算をつけています。

捕獲資格取得支援の取り組みも行っています。

●観光振興対策事業

149万8千円

観光協会補助金・日本ハム新球場応援ツアー、特産品日本酒鶴川化粧箱作成補助金です。

●移住定住促進事業

800万円
スマイリー事業くらふる
見込み増のためです。

問 大松議員 町のあちこちで測量を行って居ます。

千歳進出のラピダスとのかわりは。

答 アパート建設が好評のためですが、ラピダスとのかわりではありません。

今年度中の建設予定は、1LDK27戸、2LDK7戸、3LDK4戸、計5棟38戸です。

町としてのラピダスとの今後のかわりは、5月下旬に東胆振広域圏として説明会に参加しており、庁内に推進会議を設置し情報収集を行う考えです。

●魅力ある教育推進事業

68万1千円
特別支援教育相談員を設置。

問 佐藤 守議員 相談員配置の経緯は。

答 専門家の配置により特

別支援教育の充実を図ります。

◎令和5年度一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出額を規定額に5795万円を追加し、総額を95億6136万5千円とします。



いちに、いちに!

※主な事業

●総務一般事務 50万円
機構改正、案内看板等書き換え費用です。

●復興拠点施設等整備事業1

5720万円
各施設の整備事業工事に着手するための実施設計の予算です。

問 奥野恵美子議員 事業の想定財源としての配分は。また企業版ふるさと納税の使い方は。

答 基本は、合併特例債ですが、デジタル田園都市国家交付金の活用を考慮しており、上限は年間5億円で、整備費の50%が上限となっています。

仮に、博物館が12億円としたら、5億円を交付金で残り7億円を合併特例債の活用となります。

企業版ふるさと納税の活用は寄付年度にしか使えないため、昨年度分は基本設計に充て、今年度分は実施設計に充てられることになります。

問 大松議員 地域運営組織がかかわるのであれば、博物館、温浴施設、まちなか交流施設を、別々に発注することが良いのでは。

答 発注方法については、実施設計・施工・運営の一体発注等、地域の実情に応じた事業にするために、地

域運営組織のかかわりを含め、仕様の内容を検討しています。

問 佐藤議員 使える合併特例債はいくらですか。

また、田園都市国家交付金が使えない場合の、合併特例債不足分の財源は。

答 合併特例債残額は、17億1千万円で不足分の財源としては、胆振東部地震対策基金、恐竜の卵基金からと考えています。

問 小坂利政議員 地球温暖化が問題になっている時、地球体験館が持っていた展示を、新事業の中で表現することは出来ないのですか。

答 地球体験館が持っていた機能を、何らかの方法で伝える施設になるよう、実施設計に反映したいと考えています。

問 北村議員 ①実施設計5700万円は、温浴カフェのボーリング調査を含めた予算ですか。

②債務負担行為での事業の在り方で、今後限度額が広がることはないのですか。

③博物館の運営の中心は、行政が直接行うべきと考えますが。

また、参画する地域住民組織をどう作るのですか、見える形にすべきと考えますが。

答 ①建築費、機械設備、工事材料費など、3つの施設の、外構を含めた実施設計となり、確認申請には、温浴施設のボーリング調査は、必要になっています。

②事業費は圧縮し進めます。

18億5千万円は、債務負担行為の上限値で、超えることはなく、町の事業負担は、5億5千万円を上限とすることに変わりはありません。

③博物館の運営については現行の学芸員は維持し、管理運営を行います。

【議員発議】

◎町議会委員会条例の一部を改正する条例

町の課設置条例の一部改正によるものです。

【意見書】

採択された意見書

▽農業生産に必要な燃油・肥料・飼料等の生産資材の価格高騰対策を求める意見書

提出者

東経済文教常任委員長

不採択となった意見書

▽女性差別撤廃条約議定書の速やかな批准を求める意見書

提出者 大松紀美子議員

【反対討論】

栗原健一議員 政府としても課題を整理し、検討を加速するとしています。

意見書にある「早期に批准」とする意見書には反対

とします。

【賛成討論】

北村 修議員 日本のジェンダーギャップ指数が116位からさらに125位に下がっています。

本町も4人の女性議員が誕生しています。

政治・経済分野の女性参画の遅れが順位を引き下げていると言われています。

政治の場での取り組みを求めるためにも、大事な意見書との立場から賛成とします。

※賛成6人・反対6人と同数となったため、議長が裁決し、意見書は否決されました。

▽安心して必要な介護を受けられるように制度の改善を求める意見書

提出者 北村 修議員

【反対討論】

奥野恵美子議員 制度の改善は重要と考えますが、実

践するには、増税の不安もあることから反対とします。

【賛成討論】

大松紀美子議員 町内の二つの特養ホームでも、介護職員の不足により満床を大きく割り込んでいます。

介護報酬の引き上げで、介護従事者の確保、希望する入所者を受け入れることができるようにするために

も制度の改善は急務と考える立場から賛成とします。

令和5年第1回 議会臨時会

4月27日に開催し、報告2件、承認2件、議案2件を可決しました。

【専決処分報告】

◎報告第3号

車両走行中に下水道マンホールが浮き上がり車両が損傷したことによる損害賠償。

◎報告第4号

公用車走行中の相手方自転車との出会い頭の衝突による損害賠償。(町側過失20%)

【承認】

◎専決処分の承認

令和4年度一般会計補正予算(14号)
4890万6千円を追加し、総額102億3748万1千円とする。

問 北村 修議員 特別交付税が追加され8億円となりました。令和4年度財政調整基金の残高は。

答 令和4年度末で見込まれる現残高は、11億9000万円です。

【議案審議】

◎国民健康保険税条例の一部を改正する条例

課税限度額の国基準への統一と軽減措置の拡充です。

問 大松紀美子議員 保険

税の限度額引き上げによる影響世帯と額は。

答 80世帯、約240万円程度の影響で、軽減措置の拡充は、合計3件、10万4千円程度の影響額です。

◎令和5年度一般会計補正予算(第1号)

8779万5千円追加し、93億6085万2千円とします。

問 大松紀美子議員 低所得者層への支援金について、不平等感と高齢者温泉施設健康づくり事業についての考えは。

答 可能な限り独自制度を活用して対策、対応はしています。今後も北海道の支援事業に注視し、対応を検討していきます。

あつた○事業については、今後の改善等も含め意見を聞きながら進めていきます。

むかわ町の ここが聞きたい

6月定例会では、7人の議員が15件の一般質問を行い、活発な質疑を展開しました。
質問と答弁を要約した内容は、9ページから15ページです。

9ページ 大松 紀美子 議員

- 休日保育実施は認定こども園で
- 高校生に給食実施で魅力化アップを
- 学校給食費・無償化の延長を

13ページ 東 千吉 議員

- ゼロカーボン自分たちができることを！
- 一次産業間連携でのリーダーシップを！
- 通院する患者に寄り添う支援を！

10ページ 古内 みゆき 議員

- 移住相談会に初出展した現状と課題は
- 寄附型クラウドファンディングについて

14ページ 奥野 恵美子 議員

- 町民の思い 理解に向けての時間は

11ページ 中島 勲 議員

- ししゃもふ化場の運営について
- 郷土資料保管庫について

15ページ 北村 修 議員

- 復興・まちなか再生は暮らし優先に
- 稀代な恐竜・古生物博物館の役割重視を
- 温浴カフェ計画地は土砂災害が心配！
- 公募型発注と地元住民参加と運営管理は
- マイナカード推進はいったん凍結を

12ページ 栗原 健一 議員

- 愛誠園の施設整備に関わる対応は
- ツツジ山の花壇整備、道民の森散策路について

※紙面の都合上、掲載していない質問項目もあります。

QRコードで簡単アクセス

各議員の一般質問ページにあるQRコードを読み取ると、動画サイト「YouTube（ユーチューブ）」で、録画映像をご覧ください。



※動画を視聴する際の料金は無料ですが、スマートフォン等のデータ通信料が発生しますので、予めご了承ください。

※サイト上に掲載されている広告等はむかわ町と一切関係ありませんので、広告の閲覧等によって受けた損害等は、いかなる理由でもむかわ町では責任を負いません。

休日保育実施は認定こども園で

アンケート結果をもとに協議します



21分13秒から開始

おおまつ きみこ
大松紀美子 議員

OHMATSU KIMIKO

問 休日保育事業に向けて、現在の検討状況とアンケート調査の内容は。

答 現在、社会福祉協議会との協議を進めています。

アンケート結果をもとに、子育て世代の声を取り入れ、課題の整理、実施内容などについて協議を進めます。

問 事業実施の場所や人材など、両地区の認定こども園が親や子どもにとって、一番安心・安全につながる

と考えますし、利用料も無料だと考えますが。

認定こども園との協議を行わないのはなぜですか。

来年4月の事業開始に間に合わないではありませんか。



答 6月30日締め切りのアンケートの中間報告ですが、

休日保育の実施について、前回調査は9件でしたが、20日時点で、30件を超える世帯が希望しています。

アンケートの回答をもとに、認定こども園での実施をという声があれば協議しながら進めます。

事業規模、事業開始時期をしっかりと検討します。

高校生に給食実施で魅力化アップを課題が多く困難

問 道教委は、24年度募集で、鶴川高校の1学級減を検討するとしています。

生徒確保のための魅力化の一つとして、学校給食を実施する考えは。

また町として、広報チラシやポスターなど作成し、観光施設への掲示など、生徒確保の姿勢を町内外へ発信する考えは。

答 学校給食は、高校魅力化の一環として、検討した経過があります。

しかし、給食センターの調理能力の余力や施設改修など課題も多く、実施は難しいと考えます。

また、生徒募集のパンフレットは、町の補助金100万円を活用し作成してい

ます。

鶴川、穂別両高校では、独自のPR活動を行っています。

あらゆる媒体を効果的に活用し、道内外に向け、生徒確保を全力で取り組みます。

学校給食費・無償化の延長を

状況を見極め判断します

問 物価や燃料費の高騰が止まりません。

今年1学期分の学校給食費の無償化を、引き続き延長する考えは。

答 8月以降の無償化については、国の動向や、物価高騰の状況を見極めながら判断する考えです。

移住相談会に初出展した 現状と課題は

関係性を構築できる仕組みづくりを 考えていきます

問 6月11日に東京で開催された北海道移住相談会に初出展された現状と今後の課題は。

答 道内46自治体が出展、これまでで一番多い参加者228組318名が来場され、本町のブースには14組が来訪されました。定年退職後に移住を検討している



1時間6分38秒から開始

ふるうち
古内みゆき 議員

FURUUCHI MIYUKI

方だけでなく、50代以下が11組、子育て世代の方からの相談もあり、関心の高さに驚いているところです。相談では移住後の仕事に関する内容が多く、重点ポイントと感じています。今ニーズを把握し、関係性を構築できる仕組みづくりを考えていきます。

問 今回、お手伝いとして参加させていただきました。



パンフレット作製、終了後のフォローが重要だと思えます。



答 MDinoさん、学習塾に興味のある方には個別にフォローしています。総合的なパンフレットも検討していきます。希望者のニーズや聞き取りのためのシートの作成、PR動画を流す工夫もしていきたいと考えています。

寄付型クラウドファンディング について

様々なツールを使って アピールしていきます

問 町のアピール、財源確保のために寄付型クラウドファンディングを行う検討をされたことはありますか。

答 寄付いただいた方に次の年に礼状を送っています。

問 今後の展開は。

答 恐竜のレプリカ作成に向けた資金調達、復旧復興に向けたPRのために行いましたが、それ以降活用に至った事業はありません。クラウドファンディングに関してはこの事業に協力いただきたいという部分で行うのが適切だと考えます。

問 ふるさと納税に協力してくださった方にお礼のメール、お手紙は送っていますか。

答 クラウドファンディングを活用してタウンプロモーションを戦略的に行っています。今回の移住相談会もそうですが、町をアピールしていきます。

シシヤモふ化場の 運営について

新たな調査研究会を設置

に新たな調査研究会を設置しようと考えています。

この調査研究会には町、鵜川漁業協同組合、道立栽培水産試験場、総合研究機構、さけ・ます・内水面水産試験場等が構成員になる予定です。

すでに各機関が行ってきた研究成果について課題を整理し、横断的に連携を図りながら資源回復への問題点を洗い出し、具体的な対策につなげたいと考えています。

問 外溝工事はまだ施工されていません。いつ頃着工する予定ですか。

答 工事はすでに発注済みです。

問 昨年、約7億7千万円をかけ新築したシシヤモふ化場について、ふ化養魚と並行してシシヤモの生態、最適自然環境条件等について取り組んでいくとの説明がありました。

答 記録的な不漁が続いているシシヤモの資源回復、生態解明については、8月



1時間34分5秒から開始

なかじま いさお
中島 勲 議員

NAKAJIMA ISAO



ふ化場

問 人工的にふ化養魚を行う神秘的な作業であります。外部からの侵入防止対策等はどのようになっていますか。

答 周辺への柵の設置、施設出入口の施錠等外部からの侵入防止に配慮しています。

郷土資料保管庫について

早急に方針を定めます

問 旧鵜川町の歴史を紐解くうえで欠かせない貴重な資料が保管、展示されている郷土資料保管庫の運営方針は。

答 歴史の資料収集、保管、研究が大切でありその成果を公開すべきであると考えています。

しかし現在行政として基本的な運営方針は持ち合わせていませんが、今後早急に方針を定める考えです。

問 保管されている資料の件数は何件くらいですか。

答 衣料、農業、商業、運搬、鉄道、その他で約660点保管されています。

問 展示場所をもっと町民

の皆さんが近くで見られる場所に移動したほうが良いと思いますが。

答 資料保管庫の移設については今、はっきり申しあげられません。

問 保管されている資料の所有権はどのようになっていますか。

答 収蔵物は個人、団体から寄贈されており町の所有物として使用しています。



資料保管庫

愛誠園の施設整備に関わる対応は

これからも意見交換、課題の共有等々に努めます

問 今後、利用者が減少傾向であれば、両地区の施設を一緒にする考えは。

答 高齢者の居住環境の整備を重点的な取り組みとして位置づけています。法人内での検討委員会と、施設整備に関わる協議を必要に応じて随時実施していきます。

問 次期計画に施設整備や経営などの内容を組み込んでいきますか。

答 愛誠会は、まず赤字の縮小に取り組むことを最優先課題とし、具体的な改築案は、今の段階では未定と聞いています。支援については、今後も協議を進めていきます。

問 介護保険事業計画が、3年経過しています。その後の施設整備の協議は。

答 両地区の特養を一つとというのは、両法人の意向が最も重要視されると考えます。



3時間31分16秒から開始

くりはら けんいち 議員

KURIHARA KENICHI



元気にしていますよ

問 ツツジ山公園の花壇が老朽化しています。整備する考えは。

答 胆振東部地震以降、安全性の確保ができない状況です。今後、北海道と協議をして、町民憩いの場としての活用や復興拠点の動線とも連動するよう努めます。

ツツジ山の花壇整備、
道民の森、散策路について
整備は道との協議を進めます

問 道民の森の散策路が通行止めのままです。整備する考えは。

ゼロカーボン 自分たちができることを！

広報・ホームページでPRします



3時間56分55秒から開始

あずま ちよし 議員
東 千吉

AZUMA CHIYOSHI

問 ゼロカーボン推進事業の進捗状況と方向性は。

答 2030年46%削減、2050年カーボンニュートラルを目指します。

令和5年3月実行計画を策定し、そのロードマップを4部門で示していきます。本年度は中小水力発電で再エネ導入を計画し、広報・ホームページで町内事業所の省エネ対策を事例紹介したり、脱炭素のマニュアルをPRするなど工夫し、気運を醸成します。

Jクレジット利用までは時間が掛かりますが、むかわ町有林を対象にしっかりと取り組んでいきます。

一次産業間連携でのリーダーシップを！

経済団体の主体性を重視します

問 漁業へのこれまでの支援についての検証と対策は。

答 浜の活力再生プランにより、鵜川漁協の主体的取組を支援してきました。

具体的には、ししゃもふ化場・ホタテ稚貝放流・マツカワ稚貝放流支援・荷捌き場の整備等を支援してきました。

問 捕る漁業から育てる漁業支援へシフトアップされつつありますが、今後どういった支援で漁業経済の復興

活をしようとしていますか。体性を重視し、支援を継続していきます。

答 ホタテの放流については今年度一旦終了し、その後方針を検討します。魚価安対応では直売事業

が有利とみています。

あくまでも経済団体の主

通院する患者に寄り添う支援を！

利便性の高い公共交通を目指します

問 交通弱者対策として穂別診療所へ定期的に通院している町民が、病院の混み具合でバス時刻に間に合わないときがあります。その対策として、町民が利用しやすい支援について具体的取組の検討は。

答 穂別診療所へ向かうバス路線は6路線あり、そのうちの5路線は予約制となっています。

利用者の予約等の不具合



丹精込めて

町民の思い 理解に向けての時間は

プロポーザルのメリットを活かし充分協議します

問 復興拠点施設等整備事業Ⅰの住民説明会から得た新たな課題は。

答 施設機能については、反対の意見は特に出されていません。

整備後の有効な施設活用のソフト事業については、充分検討をという意見が多くありました。

問 温泉施設と交流拠点が一緒になっていない点や、交流施設のキッチンの狭さ等、地域の方が運営も含めて関われると思うところに理解できるような詳しい説明がなかったのでは。

答 交流拠点施設の設定場所は候補地を選定していま

すが土地交渉の点もあり現在はまだ確定していません。

サテライトオフィスとモバイルハウスの活用を想定し、中身のレイアウトについては変更可能です。

今後は地域協議会等で随時説明する機会や、出前講座等で考えを説明することで理解していただきます。

問 まちづくりに関わる各委員会おいての議論について、より分かりやすい情報の共有を図っては。

答 穂別地区では地域協議会がまちなか再生検討委員会を傍聴し、その後に何人かが議論に入った経過があります。

今後は各委員会で検討内



4時間36分32秒から開始

おくのえみこ
奥野恵美子 議員

OKUNO EMIKO

容を詳細に説明し、つながりをつけていきます。

問 説明会では女性団体からの意見もあり、事業に対して真剣に考えています。

合併特例債などの関係で時間がない中、今後実施設計までの住民への理解を求める時間はあるのですか。

答 実施設計も公募型プロポーザル方式を想定しています。メリットは手を挙げた事業者が決まり正式に契約するところで、中身を詰めることが出来るので、充分協議して進められます。

問 アドバイザーを入れての鶴川地区の復興拠点整備Ⅱは、安心安全そして豊かなまちづくりという多くの課題はあります。

早めに協議会等を作り多くの意見を聞く考えは。

答 海溝型地震の特別強化地域である鶴川地区市街地エリアのいち早い事前復興計画の策定と、まちなか再生をどのようにつなげていくのかを、プロのアドバイザーと講演会等、町民の皆さんと触れ合う機会を設定していきます。



住民説明会

復興・まちなか再生は暮らし優先に

観光につなげ 交流人口受入図りたい

能なまちづくりは、町民の暮らし優先を第一にするこ
とでは。

答 歴史をつなぎ、町で暮らす、持続可能なまちづくりがコンセプトです。

博物館に観光を合わせ交流人口受入につなげます。

稀代な恐竜・古生物博物館の役割重視を

問 新たな価値ある内容と展示、沢山の研究、集積と実績が積み重ねられた歴史、付加価値は大きい。

博物館本来の役割をなくしてはならない。

新たな計画に他の施設にはない、団体での受入や専門的学習につながる取り組み

み、さらに、周りの自然をもっと生かした恐竜の里づくりになる事業にすべきでは。

答 博物館法の改正もあり、観光機能の役割も進めるが、北大の小林教授の指導援助を求め、より学術的な内容を検討します。

温浴カフェ計画地は土砂災害が心配！

問 浴場を移設、博物館向いの高台に建設は、過去の事業で地下水が高いと指摘もあり、土砂災害への心配があります。地質調査は、町民の利便性、事業費削減、さらには防災などから、平地での計画にすべきでは。

答 温浴カフェ計画は、博物館来館者の利用で食事等滞留時間を長くでき、施設維持に貢献できると考えます。

地下水と土砂災害については、実施設計での調査で検討します。

公募型発注と地元住民参加と運営管理は

問 公募型発注で管理・運営までとしますが、博物館は指定管理などで民間任せではダメだと考えます。持続可能な地域づくりには、地元参加が経済にもつながるが、公募型と地域を含めた管理の仕組みをどうするのですか。

答 公募型発注ですが大きな事業者一社とは考えていません。地域経済につながるような地元事業者を含め参加できる仕様書を検討しています。博物館は学芸員で

対応します。

マイナカード推進はいったん凍結を

誤登録の発生は承知 国に対応を求める

問 「マイナカードひも付の健康保険証が別人のもの」など誤登録が止まず、紙の健康保険証廃止方針に国民の72%が廃止反対としています。保険証の誤登録は命の危険もあり、町でのマイナカード推進をいったん凍結すべきでは。

答 事態はその通りと承知しています。国の対応が問われています。

町として窓口での対応を間違えないよう丁寧に対応します。

問 復興拠点整備事業Ⅰは、

「町民から暮らしか、観光推進なのか」意見があります。人口減少の中、持続可



5時間43分34秒から開始

きたむら 北村 修 議員
KITAMURA OSAMU

委員会報告

総務厚生常任委員会

住民の足確保を一番に

【調査日】令和5年5月9日、6月5日

所管課より説明を受け、質疑応答の後、意見を取りまとめました。

地域交通計画の策定状況について

説明内容

①むかわ町バスOD調査結果

(期日)

令和4年12月18日及び
12月20日

(路線及び方法)

全路線について、路線により乗車による目視、運転手による目視、予約受付簿、乗車日報などにより調査

(OD調査から見えた

検討課題)

●ターゲットとして、高齢者などの徒歩生活者や買い物・通院などの外出機会の確保。

●高校生の通学利便性の確保、小学校の統廃合が進む中での乗車時間への配慮。

●ダイヤの変更による利便性の向上。

●スクールバスを兼ねた路線バスの変更。

●需要の小さいエリアでの新たな地域交通システムの展開。

②町民アンケート調査(調査期間)

令和5年1月1日～

1月26日

(対象及び回収)

町内居住者4,040世帯のうち1,359世帯

③高校生通学に関するアンケート調査

④むかわ町の地域公共交通の課題

●高齢者などの徒歩生活者のための新たな地域公共交通システムの構築。

●小学生の通学時間を短縮するスクールバスの導入。

●充実した高校生活を可能にし、保護者負担の小さい通学方法の実現。

●交通+交通拠点施設による快適な移動の確保と外出機会の増進。

●需要は少ないが、不可欠な共助を活用したサポート交通の実現。

●すぐにできることの実現や積極的な試行実験による「変えられること」の見える化。

⑤穂別地区サポート交通実証実験の概要

(実施期間)

令和5年5月15日～

7月14日

(平日、土日運行)

(運行エリア)

穂別地区全域

(運行システム及び運行形態)

地域住民の自家用車を使用したデマンド型乗合交通

(利用料金) 無料

(利用対象者) 穂別地区に居住する小中学校生以外の方

(運行時間) 午前9時～午後5時

(予約時間及び予約方法) 午前9時～午後5時まで

電話予約(当日予約可)

(効果検証) 利用状況に関する情報を整理した上で需要の把握、利用者の評価、運転手の評価、予約受付担当者の評価を行います。

利用者からも意見聴取を行い、効果と課題を検証し、穂別地区に適したサポート交通体制を構築します。

主な質疑と回答

問 サポート交通の基本的な考え方は。

答 穂別地区での検証を踏まえ、鷗川地区への普及を検討します。また、運転手の確保及び補償内容等を精査しています。

問 穂別地区先行のイメージは。

答 鷗川地区におけるJRとの接続、高齢者、通学生徒、福祉的な課題等を考慮し、時間をかけて総合的な公共交通ネットワークの構築を検討します。

問 冬季の実証実験は。

答 今回の実証実験により、効果性が高い場合は、冬季データの把握を検討します。

以上経過と意見を踏まえ、今後の行程等も考慮し、調査を継続します。

防災連携協定及び

包括連携協定等について

説明内容

● 64の防災連携協定及び包括連携協定等があります。そのうち、胆振東部地震以降に38の協定を締結しています。

内 訳

● 防災連携協定
自治体間8。姉妹都市提携1。恐竜化石を活用した自治体間連携1。北海道開発局4。北海道開発局及び室蘭地方気象台の三者1。陸上自衛隊1。町内の主たる事業所・法人8。町内での事業活動法人15。一般法人8。学術研究機関3。福祉避難所開設等5。

● 包括連携協定
見守り支援2。他様々な課題やまちづくり推進のために7つの協定が締結されています。

● 胆振東部地震時は、自衛隊による支援、道内外からの自治体職員派遣により応急復旧等で多大な成果が見られました。

● ブラックアウトによる被災の中、町内店舗の品揃えが他地域より豊富にありました。

● 胆振東部地震後は、避難や災害ボランティアなど応急復旧での経験・体験や課題に応じた締結が多く、今後の災害に備えたまちづくりに有効と考えます。

● 今後の留意事項

期限があるもの・自動更新・期限の定めがないものがあります。

協定の存在、内容含めて相互理解が必要と考えるほか、災害時の受援の必要性が認識されたことから協定を体系的に整理し、災害時に適時に最適な支援が受けられる準備

の必要性を感じています。

● 包括連携協定は多岐に渡り、胆振東部地震後に締結されたものであり、まちが目指す震災復興等に対して民間企業の強みを生かす内容とされますが、即実績につながるものではないことから試行錯誤により取組が行われています。

● 高齢者の見守り活動に関する協定は2事業所と締結していますが、実績等は発生していませんが行方不明者の捜索に関する協力は得ています。

主な質疑と回答

問 多くの協定が締結される中で町民向けのマニュアル等の存在は。

答 協定は町と相手側で締結されるもので、町民に対しては災害対策本部としての対応することとなり、防災計画の中で位置付けられています。

問 協定の伴う経費面は。

答 基本的には有償ですが役務の発生しないものは無

償となります。

問 高齢者見守り支援に関して拡大する考えは。

答 包括連携協定以外に、見守り支援の協力事業所（新聞配達、ガス、商工会、コンビニ、バス事業者等）があり、そうした中での事例があります。
また、行方不明者の捜索に対しても協力事業者と連携を図っています。

主な意見等

● 協定内容は中身の濃いもので、胆振東部地震の経験から、大事なことです。

連携を密にすることにより、町民の不安解消に努めてほしい。
● 多くの協定について、広報誌等を通じて町民へ周知すべきです。

以上の経過と意見を踏まえ、調査を終了します。



消太くんと一緒

委員会報告

経済文教常任委員会

国へ意見書を提出

【調査日】令和5年4月25日、令和5年6月2日

所管課より説明を受け、質疑応答の後、意見を取りまとめました。



田植え体験

説明内容

農業における資材高騰等による影響と対策について

②むかわ町の対策

①農業物価指数の現状

(令和5年2月)

●肥料 155・1%

(令和2年対比)

●資料 148・5%

(令和2年対比)

●燃油

115円～120円

(令和4年度)

110円～120円

(令和3年度)

(参考) 60円～72円

(平成27年)

事業名	対象	支援内容	費用
農産物価等高騰緊急対策支援事業	293件	上昇分(10%)の一部支援	約4,600万円
化学肥料等購入支援事業	258件	3,125円/t	約1,090万円
飼料高騰緊急対策支援事業	78件	2,000円/頭	約790万円
燃油高騰対策支援事業	69件	R4.11～R5.2までの使用量の70%に係る高騰単価差1/2以内	約390万円

主な質疑と回答

問

●肥料について、それぞれの地方や農家個々が自給できる対策が必要では、トウモロコシにおいては、国内自給が大きな課題では。

答

●それぞれのJAが耕畜の中で有機を活用しながら化学肥料の減量化に繋げるとされているが、現場の生産実態の中では転換できない実情がある。両JAにおいて有効な手立てが出てきた時点で相談しながら対応を図りたい。自給飼料の確保面での試験的な取組について、経過を押さえながら検討していきたい。

●長期的視点での行政支援の観点で、情報収集などにより関係機関等と連携を図りながら、取組を推進していきたい。

主な意見等

●引き続き適時な支援をお願いしたい。

●今後の農業を考慮した場合、それぞれの地域で自活できる方向支援をお願いしたい。

●精度の高い情報収集という点で現場に近い農協又は生産者団体(特に、意欲ある若い世代等)等の関係者と意見交換する必要がある。

●恵庭市での家用生ごみや給食残さを堆肥化事例について先進地視察を検討し、資源を有効利用できるヒントの一助にしたい。

a 鶴川農業協同組合
(説明内容及び意見交換等)

●令和4年農業収入は、前年比で米84%、野菜100%、生乳88%、肉牛89%となり、天候不順及び大雨被害、コロナ感染による需要低迷の影響が続いている。

●農業雑収入は、水田活用交付金が9千万円減少した。

● 1戸当たりの農畜産収入では、令和2年対比98%、令和3年対比94%であり、大幅な価格高騰に対して価格転嫁ができていない。

● 農業支出での雇用賃金は、最低賃金上昇、入国制限による人手不足、渡航費の増加によりコロナ前より10%以上上昇しているが、専従者給与の調整により増加が横ばいとされた。

● 肥料は、1戸当たり平均実績で1・56倍、生産諸資材は、0・88倍、1・01倍上昇している。

● 飼料は、穀物相場高騰と急激な円安により1・11倍、1・32倍上昇しているが、ホクレンや国による高騰対策により価格が20%抑制された。

● 運賃は、燃油高騰と人材不足から7・9%上昇したが、チャーター便の増加により令和3年より1、700万円ほど減少した。

● 1戸当たりの農業所得は、前年対比で50%、55%と平年233万円と非常に厳しい。



立派な牛になりました

● 令和4年5月以降の急激な資材高騰による影響は、農業収入を確保しなければ厳しい状況が続く、生産資材価格が高騰の高止まりであることから、国等による引き続き支援が必要である。

● 鶴川農業協同組合における農業所得向上に向けては次の取組について説明を受けた。

- ① 生産者の収量底上げに対する生産組織と問題意識を共有。
 - ② 労働力不足への対応。
 - ③ 安定的な所得確保。
 - ④ 生産資材高騰に対する農協独自の対策。
- その他の大きな課題として、時間外規制とドライバー不足により2030年には北海道で39%が輸送能力不足とされることと併せて新幹線延長に伴う貨物の減便又は廃止ということになれば北海道農業の危機に直面する。
- 今後の課題として、耕作条件が悪く、基盤整備が必要な農地では、賃貸借農地が多い中で費用負担等の問題と併せて水田活用交付金等の関連により、遊休農地の増大と離農の影響も懸念される。

bとまこまい広域農業協同組合穂別支所

● 説明内容及び意見交換等
令和5年度の肥料価格は、令和3年度対比で令和4年度178・5、令和5年度144と推移した。

● 土壌診断分析に基づく適正施肥などによるコスト削減は既に取り組まれており収量アップによる収入の確保が目標となる。

● 資材高騰等による離農はなく、高齢化に伴う離農により現在96戸にまで減少している。

● 農業収入では、米の約2億円の減少、南瓜の約1億8千万円の減少などにより、総体でも平成29年対比で約4億円の減少となり大きく影響している。

● 省力化では大口農家はハウスの自動巻き上げ機は導入済で、ドローン及び自動操作のトラクター・コンバインは10台ほど導入されており、ICT技術による省力化も一部取り組まれている。

● ICT技術の効率的な運用では、排水、農地の集約化及び大規模化等農地基盤整備が課題と想定され、農地基盤整備では国費・道費等による土地改良事業が必要とされ、採択が困難な場合、小規模

土地改良事業が必要とされる。

● 主要作物である南瓜では昨年の天候不順と併せて連作障害も見られ、収量確保が大きな課題となる。

● 土壌診断分析に基づく適正な堆肥等も行っており、堆肥も含めて適正施肥によるコスト削減と収量アップが目標となる。

● 担い手資金への借り換え及び利子補給制度による支援は大きな効果を得ている。

調査結果のまとめ

上記の結果を踏まえ、生産資材等の高騰が高止まりという状況が続く、営農努力では解決できないことも踏まえて関係行政機関に意見書を提出することとし、農業所得の確保に向けては各地区における課題等も把握できたことから、視点を変えて調査は継続することとする。

～『住みたい田舎ランキング』 全国一の沼田町を視察～ 道内行政視察

27日は廃校利活用施設と併設した東川町の複合交流施設「せんとびゅあ」を施設見学。
本町でも始まる復校拠点施設等整備事業の参考に。



沼田町化石体験館

6月26日・27日、道内行政視察のため、沼田町と東川町を訪問しました。
北空知に位置する沼田町は人口3千人弱の小さな町ですが、町政と町民が文字通り一丸となり「移住・定住対策」に取り組んでいる町です。

某雑誌の『住みたい田舎ランキング』で連続1位を獲得しており、8月中旬の夜高あんどん祭りには2日

間で約5万人の観光客が訪れるそうです。
また、新生代に生きていた海生哺乳類の化石が多く発掘されており、化石館は太古の水族館と言われるほど全国の研究者からも注目されています。

【沼田町の主な取組】

(1) 移住・定住対策
移住・定住ブランディング事業、ヤング世代移住促

進家賃助成事業、孫ターン奨励事業、町外通勤者移住支援事業、住んで快適住まいる応援奨励事業ほか
(2) 子育て支援対策
ファミリーサポートセンターでの一時預かり保育、出産祝い金ほか

(3) 議会機能強化の取組
議会モニター制度、タブレットの導入によるペーパレス化、ナイター議会、中学生による子ども議会ほか

【ここがポイント】

- ① 移住・定住・子育て支援どれもが町民ひとりひとりのことを考えた手厚い取組み。
- ② 『毎年同じ事はしない!! 少しでもアップデー』
- ③ 決して諦めない熱意と根気強さ。
- ④ 定例会の一般質問が4年平均72・5%と高い。

議会事務局からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

表紙の写真



4年ぶりのほべつ道民の森つじとアスパラの春まつり